SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：翔栄建設株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念や品質方針を明文化し、会議の場で社長より全社員へ周知している。また事務所内と倉庫に経営理念と品質方針を掲げることで常に社員一人ひとりが意識して作業できるようにしている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・飲酒運転防止等の法令遵守について徹底をしている。 ・交通安全週間については事務所に掲示し全社員へ周知している。 ・建設業法改正の都度勉強会を実施し、メールにて全社員へ周知している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・請求書や領収書については担当や経理の確認後社長自ら確認している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社長や経営陣がSDGsを理解し自らの事業活動が社会や環境に及ぼす正と負の影響について把握し社員へ共有している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産の保護について、会議の場で社長より全社員へ周知している。 ・これまでに培ってきた技術や経験、ノウハウ等の知的財産の保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報については施錠しキャビネットで厳重に保管している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・取引先と多い時には1日2、3回工程や工事の打ち合わせを行い、情報共有システムを活用し、常に情報共有を行っている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・社長自ら人権活動の全国大会に参加している。 ・【予定】2023年5月までに、安全大会を開催しハラスメントについても取引業者含め周知する。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・建設業協会阿蘇支部を通じて熊本県、阿蘇南部建設業組合を通じて南阿蘇村と防災協定を締結している。 ・国土交通省と直接九州地方整備地区の立野ダム工事事務所、阿蘇砂防事務所の防災協定を締結している。 ・敷地内に防火水槽を設置し、地域の住民へ開放している。 ・AEDを事務所に設置している。 ・【予定】2023年5月までにBCPを策定する。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：翔栄建設株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など職場環境において差別しない体制・運営を徹底している。 ・就業規則に差別やハラスメントの禁止について定めている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・月に1度各現場を監督が相互牽制のためチェックし合い、パトロールすることで問題点を共有し、労働安全に努めている。 ・休憩については必ず取得し、熱中症対策のため作業中の水分補給や空調服の支給をし、安全対策に努めている。 ・新規入場者については現場での安全確認の教育を徹底している。 ・【予定】2023年5月までに、安全大会を開催する。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・公正な待遇を実施している。 ・賃金規定に則り、同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・管理者へ事前に残業、休日出勤を申請することにより時間管理を徹底し、長時間労働の削減に努めている。 ・有給休暇については100%取得をしている。 ・現場に応じて夏場は休憩を都度取りながら効率よく作業できるよう徹底している。 ・就業規則に育児・介護休暇制度を定めており、働きやすい職場環境の充実を目指している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・資格取得のための学費や資格取得費等については会社にて負担し、資格取得を奨励している。また合格者については奨励金を支給し、給与面での優遇も実施している。 ・研修については資料を全社員へ回覧し情報共有に努めている。 ・熊本県建設業協会主催の新人・中堅教育に参加し知識を高めている。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・ヘルスター認定を取得し、健康経営への取り組みを実施している。 ・定期的にメンタルヘルスケアのセミナーを開催している。 ・禁煙を促進し社員の健康増進に努めている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・3年前から外国人労働者を受け入れ、人種や性別等の違いによる差別的待遇はない。 ・社長がくりの実会南部の会長であり、社会支援のための受け入れ体制がある。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・検温、アルコール消毒、パルスオキシメーターの測定を徹底している。 ・WEB講習会に積極的に参加している。 ・勤怠管理システムを導入し、携帯電話やパソコンから打刻を行うことで直行直帰等に対応している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・本業の建設においてICT施工を実施している。 ・ドローン講習を受講し、航空写真にて状況を把握を行うことで、業務効率化に取り組んでいる。 ・勤怠管理システムを導入し、携帯電話やパソコンから打刻を行うことで直行直帰等に対応している。 ・【予定】2023年5月までに制度に応じて領収書・請求書等の電子化を行う。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	【予定】2023年5月までに、ブライト企業の認定を目指す。			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：翔栄建設株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・処理については産廃ボックスを利用し、100%業者に依頼することで適切に管理・処理している。 ・【予定】2023年5月までに、建設廃棄物適正処理計画を作成することにより廃棄物の削減に努める。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・現場の電光板については蓄電パネルを使用している。 ・事務所はすべてLED照明にし節電に取り組んでいる。 ・電力会社のシートに基づき電力の把握に努め、グラフ化することで削減を意識している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・【予定】2023年5月までに、簡易計算シートを用いてCO_2の使用量を把握し削減に努める。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・くまもとマイ・リバー・サポートボランティアの実施により緑地や水辺の整備など生物の生息・生育地の創出に取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・再生紙や裏紙の利用促進を社員へ徹底している。 ・事務用品については環境に配慮した製品を購入するように促進している。 ・社内の連絡はメールを徹底することで紙の削減に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・舗装工事の際カッターから出る濁水については業者に回収を依頼し適切に処理している。 ・生コンクリートについては川に流れないように袋で回収し、業者が適切な処理を実施するよう指導徹底している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・アスファルトについては中温化合材を使用することで温度を抑制し熱中症予防やCO_2削減に努めている。 ・再生用紙や裏紙を使用し、事務用品についても環境に配慮したものを購入している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・各現場においてプランターに花を植えている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・事務所についてもすべてLED照明を使用し節電に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・施工時に伐採した木材を木製チップに加工し再利用している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・阿蘇森づくり協議会の、森林保全活動に協力している。 ・【予定】2023年5月までに、熊本県や阿蘇市に働きかけ植樹活動を実施する。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・くまもとマイ・リバー・サポート活動を通じて海洋ごみや海洋汚染の予防に努めている。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：翔栄建設株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・ISO9001を取得し品質を確保する仕組みを構築している。 ・施工計画に応じて熊本県の検査前に、社内で部長が担当者となり社内検査を実施し安心・安全な施工を提供している。			3.9						9			12.4					
製品・サービス	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・【予定】2023年5年までに、事務所を建替え時に手すりの設置や段差解消等のユニバーサルデザインを意識して建設する。									9.1	10	11.7						17
製品・サービス	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・工事全般の施工において熊本県産材の利用を促進している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
製品・サービス	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
製品・サービス	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・熊本県、南阿蘇村と災害協定を締結している。 ・積極的にロード・クリーン・ボランティアやくまもとマイ・リバー・サポート等の活動に参加している。 ・地域事業者として地域のお祭りに寄付を実施している。 ・社長がくりの実会南部の会長であり、社会支援のための受け入れ体制がある。 ・道路にかかる竹林や樹木等の伐採により地域貢献に取り組んでいる。 ・阿蘇法人会女性部、南阿蘇村商工会女性部の取り組みとして、役場や介護施設へ毎年花の寄付等の奉仕活動を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持続可能な社会・地方創生	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・ハザードマップについては各自確認するよう周知している。 ・飲料水や食料、資材についても防災備蓄として常備している。 ・災害の際は都度被害状況を村や県へ報告を実施している。 ・自社保有の重機を自衛隊に貸し出したり、自らも災害復旧を実施している。				4							11.5		13.1			16	
持続可能な社会・地方創生	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・地震や災害の際は避難所として職場を開放している。 ・南阿蘇村消防団協力事業者として地域のために活動している。 ・自社施設にある防火水槽を地域住民に開放している。 ・事務所にAEDを設置している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
持続可能な社会・地方創生	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
持続可能な社会・地方創生	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・従業員に対してSDGsに関する勉強会を開催し普及啓発に努めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持続可能な社会・地方創生	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・中学生のインターンシップの受け入れ実績があり、建設業の仕事について普及啓発に努めている。				4				8.6		10.2							17
持続可能な社会・地方創生	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・就職説明会への積極的な参加により、建設業界の仕事について地元若者への関心を高め、将来の雇用に繋げる取り組みを行っている。				4.4				8.5 8.6									17
持続可能な社会・地方創生	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。